

2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会
活動テーマ	リハビリテーション専門職を目指す学生への防災・災害医療の教育



【目的】2019 年度まで、毎年、大阪府のリハビリテーション医療職に対して、研修会を企画し開催を行ってきた。その結果、研修を受けたメンバーは、これまでの災害において中心的な活動が行うことができ、平時からの教育が効果的であったことを認識した。一方、学生への防災や災害医療の卒前教育が不足していることに気づき、学生への教育を行うことを考えた。

【実施方法】2020 年の前半は、災害リハビリテーション支援のための新しい研修ツール(DREAG)を用いて、出張講義をおこなったが(図上左と右)、新型コロナウイルス感染拡大により、対面での講義・演習や、セミナー・シンポジウムなど集合して行う研修会が開催困難となり、軌道修正せざるを得なかった。

そこで、オンラインでできるように、動画を作成し、特別講演の講師には録画講義を依頼し(図下左)、DREAG も、オンライン用に作り替えた。DREAG の原作者(熊本県理学療法士協会 佐藤亮先生)にも打ち合わせに参加いただき、許諾を得て、当会オリジナルの Online DREAG for student を作成し、計 4 回開催した(図下右)。

【活動成果】DREAG という新しい教材が、リハビリテーション専門職ではなく、学生を対象として行ってみたが、教育ツールとして使えることがわかった。そして対面式で行ったことに加え、オンライン版も作成した。オンライン版では、場所を取らず、移動時間も少ないので、多くの指導者が参加することができた。何度も繰り返し行い、アンケートをフィードバックすることにより、学生に伝達する内容と量が把握できた。

対面式とオンラインの合計で、102 名の学生が受講し、直接教育することができた。アンケートによると、研修前と研修後では、支援活動に対する意識が向上しており、教育効果があったことを実感した。